

◆本納駅東地区土地区画整理事業

平成26年4月に地元まちづくり推進協議会より、「本納駅東地区まちづくり計画（地区計画）提案書」の提出を受けましたので、今後は、地区計画の都市計画決定に向け、関係機関と協議を進めます。

◆（仮称）茂原長柄スマートインターチェンジ設置事業

現在、橋りょうの詳細設計、用地測量業務等を発注しています。

今後、地元および地権者の方々のご理解・ご協力を得ながら円滑な用地取得に努めていくとともに、引き続き千葉県、長柄町、東日本高速道路株式会社をはじめ、関係機関とのさらなる連携を図り、早期の供用開始に向けて取り組みます。

◆長生グリーンライン

現在、長南町坂本地先で改良工事が進められています。茂原区間は関係する野牛・台田・立木・三ヶ谷地区での境界立会がおおむね終了し、今後、用地取得に入る予定となっております。本道路は圏央道にアクセスする重要な道路

ですので、関係機関と連携し、さらなる事業促進に努めます。

◆県道茂原環状線

平成27年度の完成に向け、茂原環状線と茂原大多喜線の交差点改良工事が進められていますので、県事業の早期完了に向け、引き続き協力してまいります。

◆地域公共交通の運行

市民バス「モバス」、デマンド交通「ふれあい」の実証運行を検証し、4月から「モバス」の運行数を増便するとともに、「ふれあい」の予約運行を見直しますなど、さらなる利便性の向上に努めます。



▲運行数を増便する市民バス

◆住宅用省エネルギー設備等促進事業

地球温暖化の防止ならびにエネルギー利用の効率化・最適化を実現するため、従来の住宅用太陽光発電設備の設置助成に加え、新たに家庭用燃料電池システム（エネファーム）、定置用リチウムイオン

蓄電システム、エネルギー管理システム（HEMS）、電気自動車充電設備の4つの設置費用に対して、助成を行います。



◆農林行政

今後米価の回復は、非常に厳しい状況にあると予想されることから、農業所得の安定に向け、需要に応じた米の生産を推進するとともに、茂原市地域農業再生協議会をはじめ、関係機関と連携を図りながら、農業所得向上のための所得モデルプランを推進してまいります。

経営基盤強化対策については、担い手への農地集積・集約化や耕作放棄地の解消に向け、農地中間管理機構や本市農業委員会が所掌する農地の貸借など、幅広く制度の周知に努め、担い手の育成や耕作放棄地の再生等を図ります。

◆有害鳥獣駆除事業

農業収入の減少や耕作放棄

地の増加を抑制する上で、有害鳥獣の駆除は非常に重要であることから、引き続き捕獲用の檻や、わなの増強を図るとともに、県内初の試みとなる民間企業との連携により、生態系の調査や遠隔監視による捕獲を実施し、体制の強化を図ります。

◆農業基盤整備事業

清水地区の農耕地等の湛水被害の防止に向け、整備に向けた調査を実施し、計画の策定による、早期の事業化を目指してまいります。また、引き続き、新川地区のかんがい排水を整備するとともに、早野地区等のため池や小林地区等の用排水路を整備し、土地利用の高度化および経営の安定化を図ります。

◆企業誘致

民間調査会社との業務提携により、対象企業の情報収集を強化し、より効果的かつ効率的に、企業誘致を実施します。

◆茂原にはいる工業団地

本年1月に仮設道路工事が発注され、平成29年度の分譲開始に向けて、本格的な事業着手に至っています。今後も

県と連携を図り、事業の推進を図ります。

◆観光事業

2月14日に「冬の七夕まつり」と銘を打ち、新しい冬のイベントを開催しました。この「冬の七夕まつり」と同日に、六斎市の中に「茂原まるまるマルシェ」が加わった、民間同士による、新たな協働事業も行われました。

春には「桜まつり」を、そして夏には本市最大のイベントである「茂原七夕まつり」を、秋には「茂原秋まつり」を、本年も盛大に開催できるように関係機関と連携を図り、四季を通してイベントの開催により、本市の魅力発信と一層の観光振興を図ります。



▲初の開催「冬の七夕まつり」

また、さらなる取り組みとしては、千葉県と神奈川県を結ぶアクアラインおよび圏央